

令和5年度 釜石市地震・津波避難訓練実施結果

1 目的

市民一人ひとりが身近な避難場所を確認し、そこまでの避難経路や避難にかかる時間を把握するなど、改めて避難行動や減災対策の重要性を市民に周知し、正しい防災知識の普及啓発と自助や共助の意識を高めることを目的とし、市内全域での地震・津波避難訓練を実施しました。

2 日時

令和6年3月3日(日) 8時30分から10時00分

3 実施結果

(1) 避難訓練 8:30-9:00

○シェイクアウト訓練(市内全域の住民)

8時30分に防災行政無線で緊急地震速報の警報音を鳴らし、市内全域で落下物などから身を守る訓練を行った。

○津波災害緊急避難場所等への避難(津波避難対象地域の住民)

8時33分頃に、防災行政無線で数回、大津波警報のサイレンを鳴らし避難指示を伝達した。参加者は津波災害緊急避難場所等までの経路、避難にかかる時間の確認、避難場所等の状況確認を行った。

<避難者数>

	男	女	合計
指定避難場所(73か所)	918人	1,021人	1,939人
自主避難場所(29か所)	205人	290人	495人
指定避難場所・自主避難場所 合計102か所	1,123人	1,311人	2,434人

※訓練当日の速報値は、通信訓練で受信した指定避難場所等63か所、1,506人と報道発表した。

この資料では、その後に町内会等から報告を受けた人数を加算している。昨年比369人増。

<過去の訓練参加者数>

訓練実施日 (開始時間)	H29.9.1(金) 9時	H30.9.1(土) 8時	R1.9.1(日) 7時	R5.3.5(日) 8時30分
避難場所数	49	76	79	91
避難者数	2,974人	1,935人	1,858人	2,065人

(2) 自主防災組織等による防災訓練 8:30-10:00

○避難所運営訓練

実施団体	場所	参加者数	実施内容
鵜住居町内会	釜石東中学校体育館	60人	・避難所開設、運営訓練

○炊き出し訓練（後方支援活動）

実施団体	場 所	参加者数	実施内容
中小川町内会	中小川集会所	23 人	・ ご飯の炊き出し（米 4.5 kg） ・ おにぎり作成（大 60 個）

○避難行動要支援者の避難訓練

実施団体	場 所	参加者数	実施内容
荒川町内会	下荒川地区	16 人	避難行動要支援者の避難手段の一つとして車両 10 台を使用した訓練を実施した。
箱崎白浜町内会	箱崎白浜地区	12 人	車両 4 台を使用した避難訓練を実施した。

○避難者受入施設等の準備

実施団体	場 所	参加者数	実施内容
内陸部町内会	各地区集会所等	85 人	・ 集会所等の施設を開錠 ・ 施設点検、防災備蓄倉庫確認

(3) 公的機関による訓練 8 : 30-10 : 00

○釜石市災害対策本部運営訓練

実施団体	場 所	参加者数	実施内容
釜石市	釜石市立図書館	50 人	・ 災害対策本部設置、運営訓練 ・ 通信訓練

○拠点避難所開設、市施設参集訓練

実施団体	場 所	参加者数	実施内容
釜石市	市内 7 拠点避難所 応援 C ほか市施設	127 人	・ 拠点避難所設置、開設訓練 ・ 市施設への参集訓練

○位置情報実証実験

（株）Agoop の技術指導のもと、当日の訓練参加者の携帯電話の位置情報を用いて、市の指定緊急避難場所や指定避難所、自主避難場所等への避難状況や、避難場所までの適切な避難行動を分析するための実証実験を行った。

<結 果>

- ・ 災害対策本部に設置したモニター 2 台に訓練参加者の位置情報を可視化した映像を投影し避難行動の検証を行った。
- ・ リアルタイム分析では鶴住居エリア、釜石市役所周辺エリア、八雲神社周辺エリア、唐丹エリアの 4 か所で同時モニタリングを行い、避難指示発令後の訓練参加者の行動がリアルタイムに可視化された。
- ・ モニターに人流データが映し出され、動く矢印はアプリをインストールした人を表していることや、岩手県が公表した最大クラスの津波浸水想定をもとに浸水開始時間を重ね合わせて表示することで、動く矢印が津波を避けて適切に避難できているか等の検証が可能なが実証された。
- ・ 市は 4 月中旬に Agoop から実証結果の詳細について報告を受けた後、定例記者会見で報告するとともに、市ホームページで結果を公表する予定です。